

第9回 三陸・大船渡 東京タワーさんまつりで周知活動を行いました！

塩と暮らしを結ぶ運動推進協議会では、2017年9月23日（土・祝）に東京都港区芝公園の東京タワー屋外特設会場で開催された「第9回 三陸・大船渡 東京タワーさんまつり」（主催：三陸・大船渡 東京タワーさんまつり実行委員会）で周知活動を行いました。

秋の味覚といえば「さんま」ですが、このまつりは、岩手県大船渡市から直送された新鮮なさんまを、大船渡から上京したスタッフが熟練の技で炭火焼して無償で振る舞うという、大船渡港に水揚げされたさんまのPRと、東日本大震災で甚大な被害を受けた同地の復興支援を兼ねたイベントです。

このイベントに対し、大船渡に営業所を持つ株式会社東日本ソルト（全国塩元売協会会員）が、「さんまに良く合う塩」を提供しています。

今回は、これに加え、会場に塩と暮らしを結ぶ運動のポスターを掲示し、また来場者の方に、運動のリーフレットやマグネット、ウチワを配布しました。

当日は、午前中の雨天にもかかわらず、イベントには1万2千名以上の来場者があり、大変なにぎわいでした。さんまを焼く煙が立ち込める中、約200名の方に、運動のリーフレットなどを配布し、さんまの塩焼きにも欠かせない「塩」について、改めて知っていただくことができました。

